



YAMADATATSU

COMPANY PROFILE

TRUSTED “TSUNAGI” SINCE 1911

～100年の想いをつなぐ～

移りゆく時代のなかで、つなぎ服に求められるものは大きく変わってきました。
より現場に即した機能があるのか。着る人も気づいていない真のニーズにどれだけ寄り添えるのか。
私たちがめざしてきたもの。そしてこの先もずっと求めていくこと。

1911年、私たち山田辰はオーダーメイドの

作業着の製造からスタートしました。

戦中・後の混乱期、歴史を揺るがす自然災害、未曾有の経済不況。

100年を超える私たちの歩み。

それは、度重なる苦難を乗り越えてきた日本の産業と寄り添い、

ともに成長を遂げてきたかけがえのない時間でもあります。

時代の変化に磨かれ、受け継がれてきた技術と創意工夫。

“山田辰のつなぎ服”は、いまでは航空や海洋、建築など様々な分野にまで

広がり、今日では日本のつなぎ服の定番ブランドとして

高い信頼を得るまでになりました。

これまでの100年を、これからの100年へ。

時代がどれだけ変わろうと、常に現場のプロに必要とされるつなぎ服を通して、
次代に受け継がれる伝統を守り、現場の厚い信頼にひとつひとつ確実に応えていきます。



※ワーキングウェアつなぎ服
東京商工リサーチ調べ2025年10月調査

INDEX

- 山田辰のビジョン
- つなぎ服の6つのメリット
- 進化するつなぎ服
- 実績紹介
- ものづくり
- UNITECH
- SDGs
- 山田辰の歴史
- 沿革
- 会社概要

VISION OF “TSUNAGI”

つなぐチカラを、人と未来へ。

つなぎ服の概念を変えていく。
信念は揺るがない。

つなぎ服を、もっと身近で使いやすいワーキングウェアへ。

今日、つなぎ服のトップメーカーとして確かな軌跡を残してきた山田辰。

しかし振り返れば、ここまでの道程は決して平坦なものではなく、

苦難の数の方が多かったような気がします。

山田辰の歴史。それは、現場で働くプロの厳しい要望に正面から向き合い、

つなぎ服の理想を追い求めつづける挑戦の記録でもありました。

人と人、人と現場をつなぐ服をお届けしたい。どれだけ時代が変わっても、

その想いだけは色褪せることはありません。

だからこそ、私たちのつなぎ服には一切の妥協を許さない確固たる信念が

脈々と息づいています。

技術の革新。意識の革新。環境の革新。現場本位のワーキングウェアを求め、

研究と開発を重ねながら生産性の向上やSDGsなど時代の変化にも対応する。

昨日までの概念を超えていくこと。これまでにない価値を創りだすこと。

山田辰のゴール、私たちが目指すものは、

つなぎ服の未来を創造することです。



WHAT'S “TSUNAGI”?

一攫千金の夢から生まれた“つなぎ服”。

ときはアメリカ開拓時代のゴールドラッシュ。1848年、アメリカ・カリフォルニアで金鉱が発見されると、

世界各地から一攫千金を夢見る何十万人もの人々に溢れかえりました。

しかし厳しい陽射し、激しい風雨や泥にまみれる採掘作業に、当時の作業着はすぐに劣化してしまいます。

そんな過酷な環境下で、「丈夫な作業着がほしい」という多くの労働者の声から生まれたのが、

丈夫なキャンバス地の胸当てパンツ（オーバーオール）。これがつなぎ服の原型だといわれています。

その後、改良を繰り返し、上衣（トップス）と下衣（ボトムス）を一体化した現在の全身を覆う形状へととなりました。

WHY “TSUNAGI”?

100年間の一意専心。

過去、現在を通して世界でずっと変わらず支持されているつなぎ服。なかでも、現場で働く人たちに愛され、着つけられている“山田辰のつなぎ服”には、100年の信頼に裏づけられた高い技術が活かされています。

動きやすさに改良を加えた着用感。ハードな現場にも適した耐久性。安全に作業を遂行するための形状や工夫。

どれ一つ欠けても“山田辰のつなぎ服”とは呼べない。私たちの製品にはそれだけの自信があります。

時代とともに多様化、より複雑化する現場の要望を正面から受けとめ、着る人にとって多くのメリットを感じることの

できるつなぎ服をめざして。100年という長い時間をかけて磨き上げられた技術と、弛むことのない改善の姿勢。

他では決して真似のできない一意専心の精神が宿る作業服。

袖を通せばわかる“山田辰のつなぎ服”には、選ばれつづけられる理由があります。

6 ADVANTAGES OF “TSUNAGI”

つなぎ服 6つのメリット

つなぎ服は、その成り立ちが示す通り、ファッションとしてではなく、ワーキングウェアとして発案されました。そこに求められるものは、実際の現場でいかに安全で快適に着ることができるか、作業者にとって動きが制限されない配慮が成されているかどうかということ。独自の進化を遂げた“山田辰のつなぎ服”6つのメリットをご紹介します。

01 着用感 着心地がよく、動きやすい

つなぎ服が、現場の動きを一瞬でも妨げてはいけない。“山田辰のつなぎ服”の魅力は、着用感に優れ、動きやすいこと。型紙や素材など独自のプロダクト技術により、たとえジャバラが無くても立ったり屈んだりする動きがスムーズに行え、またカッティングに工夫を凝らすことで着脱もとても容易に。ベルトレスなので腹部の圧迫感やズボンのズリ下がりや上着がめくれることもなく、腕や脚の動きが制約されず、作業に集中できます。

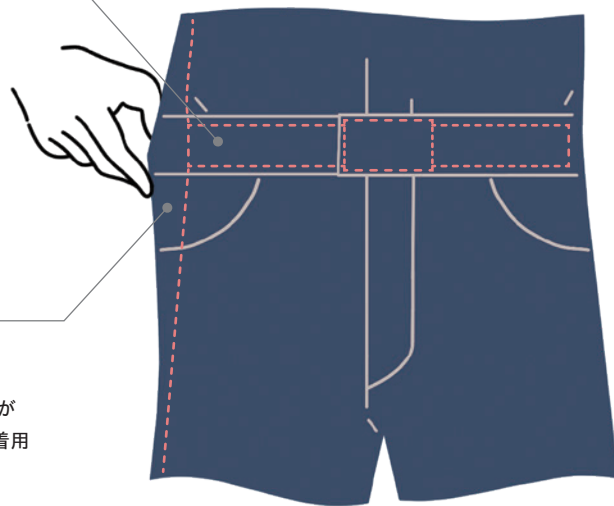
〈現場での動きに配慮した工夫〉

ベルトが不要

ベルトのバックル(金属部分)で製品を傷つけてしまう心配もありません。

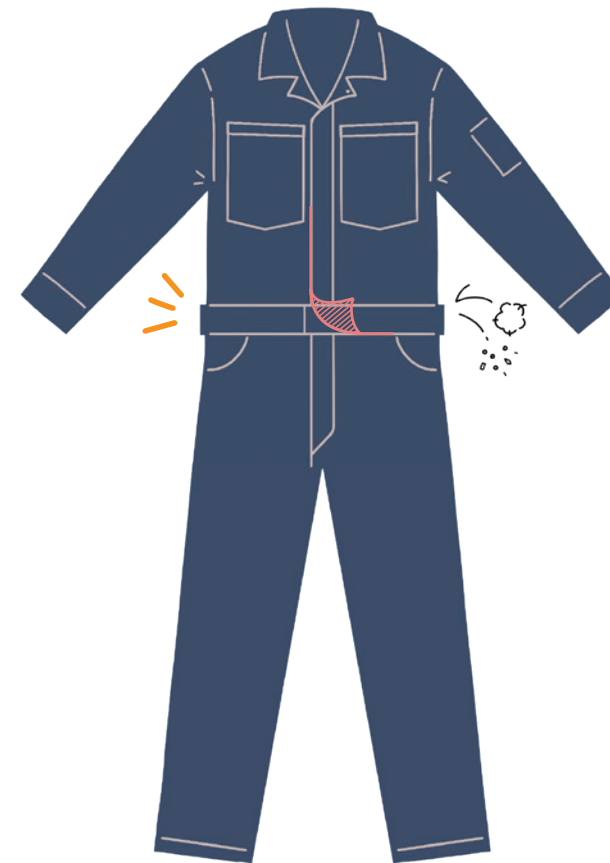
締め付け感がない

上下が繋がっているため、ゆったりと着用でき「締め付け感」が気になりません。また、上下服タイプとは異なり、ベルト部分の干渉が無いので、つなぎ服の下に腰痛予防コルセットを着用することも容易です。



02 労働安全保護性 汚れや異物混入を防ぐ

様々な現場で活動するつなぎ服だからこそ、安心できる服でなければいけない。全身を覆う上下一体型だから、肌の露出も少なく、上半身と下半身の間に隙間が無いため、汚れや危険な異物が衣類内に侵入しにくい形状となっており、安全で快適に作業するのに役立ちます。また、一方で、この形状は衣類内から衣類外への異物の飛散・漏出を防ぐため、衛生管理が求められる食品加工の現場や精密機械を扱う作業現場での異物の混入対策として効果が期待できます。



「異物侵入」から 労働事故を防ぎます

つなぎ服を選ぶポイントの一つは、作業をする人の身体を守るための「安全保護性」です。“山田辰のつなぎ服”は、現場の様々な危険から、作業をする人の身体を守るため、想定される環境に応じて事故やケガのリスクを防ぐ形状や素材を採用しています。



〈火花や火の粉が発生する現場でも〉
鉄鋼業や溶接現場、金属加工など火を扱う現場では、火の粉の付着や機械への肌の接触で大火傷を負うような深刻な労災事故の発生を抑えます。



〈粉塵が舞う現場でも〉
塗装やセメントを扱う現場では、粉塵や金属片が服の隙間から衣類内へ侵入しないよう工夫されています。



〈危険な化学薬品を扱う現場でも〉
化学薬品や溶剤など液体系の薬剤を使用する現場では、服の隙間から薬剤が侵襲する危険から身体を守ります。



〈衛生的な食品加工の現場でも〉
食品工場や食品加工など衛生管理に細心の注意を求められる現場では、製品への異物の混入を防ぎます。

「巻き込み事故」の 危険を減らします

腰回りで上半身と下半身が繋がっており、ベルトを必要としない上下一体型のつなぎ服は、上着や裾下からはみ出たTシャツなどのインナーによる巻き込み事故、機械への引っかかりに伴う事故などの重大事故の発生確率を軽減し現場で働く人を守ります。



03 発注・在庫管理ストレスフリー オーダー時の細かい作業が不要

上下服タイプをオーダーする際は、上着とズボンそれぞれのアイテム・数量に加え、着用される一人ひとりに合わせたサイズを上着とズボンそれぞれ指定する必要がある、とても手間がかかります。また、納品されたユニフォームを配布するときには従業員一人ひとりの名前と商品を紐づけたり、サイズに間違いがないか等、特に人数の多い現場ではなおさら確認作業に非常に時間がかかる場合があります。その点つなぎ服なら、サイズ情報が1種類で済むため、確認もオーダーも至ってシンプル。発注や在庫管理の煩わしさを軽減します。

AさんはジャンパーSサイズが2着、ズボンウエスト75が4着、
BさんはジャンパーMサイズが2着、ズボンウエスト80が4着、
CさんはジャンパーMサイズが2着、ズボンウエスト78が4着...



上下服タイプの場合

AさんはSサイズが2着、
Bさん、Cさんは Mサイズを2着、...

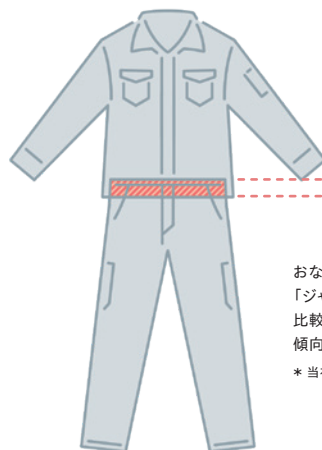


つなぎ服タイプの場合

04 エコロジーな一着 資源の無駄を抑えた全身一体化構造

全身を1つの服で覆う構造のつなぎ服は、一般的な上着の部分とズボンの部分の重なり合いが存在しません。そのため、上下服よりも使用する生地の手尺が短く、原材料も少なく済むため、とてもエコな衣服だと言えます。

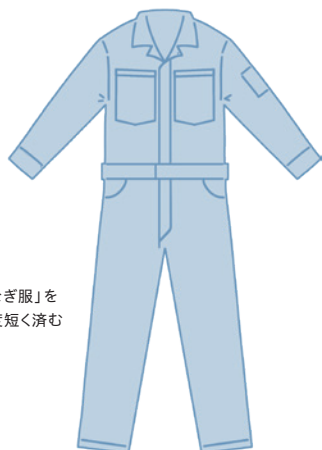
上下服タイプ



10%減

おなじサイズであれば、
「ジャンパー」+「ズボン」と「つなぎ服」を
比較すると使用手尺が10%程度短く済む
傾向にあります。
* 当社製品との比較

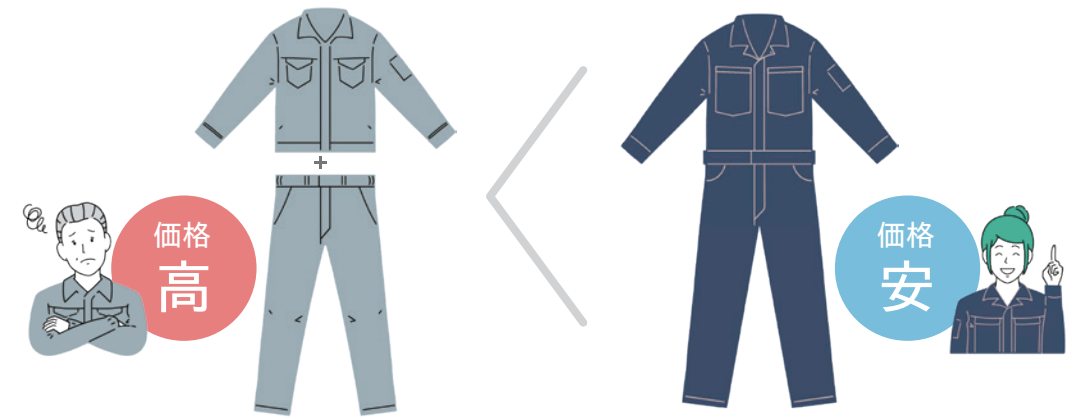
つなぎ服タイプ



- 再生ポリエステル素材
ペットボトルのリサイクル素材を採用。
*一部製品に採用
- フェアトレードコットン認定
国際フェアトレード認証を受けたコットンを使用。
*一部製品に採用
- 買い替えサイクルが長い
丈夫で汚れに強い、耐久性に優れた素材により
買い替え頻度が少ない。
- 強力三重環縫(きょうりょくさんじゅうかんぬい)
「ほつれにくさ」の強度を高める特殊産業ミシンに
よる永年のノウハウをもとにした独自の縫製技術。
*一部製品に採用
- 原材料の使用低減
性能を維持しながら、手尺^{*1}を抑えるための
パターン(型紙)、マーカ^{*2}技術を独自に開発。
*1:衣料製品を1着作るのに必要な生地の手尺。
*2:原反の幅の中にパターンをはめ込む作業。

05 コストパフォーマンス 上下服タイプと比べて経済的

つなぎ服の魅力は、安全面、衛生面だけではなく、全身一体型の形状により、上下別々にユニフォームを揃える必要がなく、使用原材料も少なく済むため経済的です。また、お洗濯も一着分で済むので手間もかからず、ユニフォームの洗濯管理の面でも経済的です。



06 ジェンダーレスデザイン ボディラインが目立たない

肌の露出や締め付け感がなくゆったりと着られるつなぎ服は、ボディラインのシルエットもはっきりと出づらいことから男性も女性も安心して同じデザインのユニフォームを着用できる、ジェンダーレスに適した作業服です。



トイレの不安を解消する
PROCARE-TECH®
W A I S T



これまで上下一体型のつなぎ服は、トイレが不便だ
というイメージから、敬遠される方も中にはいらっし
やいました。この課題を解決したのが、山田辰「ウエスト
ファスナー機能」です。腰回りにファスナーが付いた形
状で、男女問わずトイレの際の煩わしさを解消しました。

*一部製品に採用
*ウエストファスナー機能についての詳細はP11に記載しております

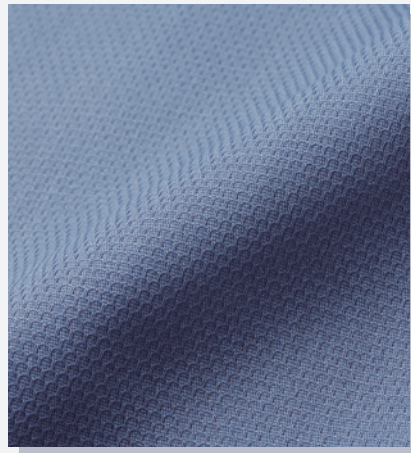
EVOLUTION POINTS OF “TSUNAGI”

進化するつなぎ服

様々な現場のプロたちを支えるつなぎ服には、働く人の身体を守る安全性や、動きやすい機能性など、あらゆる面で性能の進化が強く求められています。100年を超える歴史の中で、それぞれの時代の課題に常に答えを出しつづけてきた“山田辰のつなぎ服”は次の時代へ、新しい価値を生み出していきます。

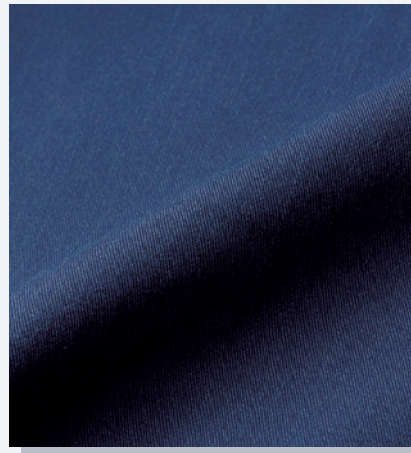
素材

タフな現場でも機敏に動けるストレッチ素材。暑さの激しい現場に適した吸汗性・通気性の高い素材。可燃性危険物を使う現場での防炎性・難燃性素材など。“山田辰のつなぎ服”は、提携する素材メーカーとの技術開発によりそれぞれの現場の課題に適した新素材を採用しています。



SARASSO®
吸汗速乾

生地表面に立体感をつける構造により、高い吸汗速乾性を実現。汗をかくても素早く乾くので、肌にまとわりつきにくくなっています。速乾性に優れ、洗濯後も早く乾くためお手入れも簡単です。



FIREPROTECT®
防炎・難燃

難燃性に優れた生地を使用することで、火に触れても燃え広がりにくく、素材自体が炭化して、皮膚に付着しにくいため、火を扱う現場での安全性を高めます。洗濯しても性能がほとんど劣化しない素材もご提供できます。

快適形状開発

独自のCutting技術と形状により、たとえ腰部にジャバラがない製品でもしゃがみ込む際に腰が突っ張ったり、立ち座りのたびに服が引っかかるなど、姿勢を頻繁に変える現場でも身体を自由を奪わない動作性を重視した構造となっているのが“山田辰のつなぎ服”の大きな特徴の一つです。毎日の現場の動きに合わせて快適性と耐久性を共に発揮する優れた一着です。

MOVEZ®

作業の動きを制限させない「高い動作性」を実現

肩・脇から腰にかけてストレッチ素材を採用。動きやすさとともに高い通気性で脇部分の蒸れを軽減します。

肘と膝の部分にアコーディオンタイプのプリーツを内蔵。作業時の関節の動きの負担を軽減します。



PROCARE-TECH®
W A I S T

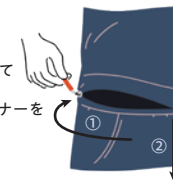
つなぎ服の不便さを解消「ウエストファスナー」機能

ウエスト周りにファスナーをつけ、トイレの際もいちいち上半身を脱ぐ煩わしさから解放するウエストファスナー。



STEP.1

①ウエスト周りのファスナーを一周して全開にし、②フロントファスナーを下します。



STEP.2

下半身部分をズボンで脱ぐ要領で下ろします。



STEP.3

つなぎ服を脱ぐことなく便座に座ることができます。



着脱のしやすさ

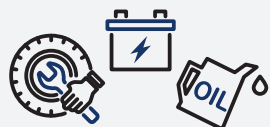
山田辰ではつなぎ服の脱ぎ着がストレスにならないよう、使用感の持続的な改善を行っています。

INTRODUCING PERFORMANCE

つなぎ服は自動車整備業など一部の業種の方が着用するイメージを持たれがちですが、「作業着」を着用する様々な業界の方々に幅広くご愛用いただいている商材です。
“山田辰のつなぎ服”は実際に、非常に幅広い業界の方々にご愛用いただいております。

INDUSTRY 01

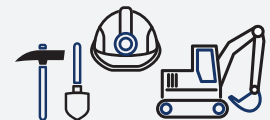
輸送機器整備業関連



- 自動車整備業
- トラック整備業
- 特殊車両整備業
- 航空機整備業
- ヘリコプター整備業
- 農業機械整備業
- 二輪整備業
- 各種機械リース業
- 船舶整備業

INDUSTRY 02

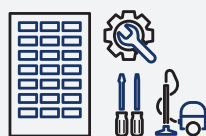
鉱業関連



- 石油採掘業
- 石灰石採掘業

INDUSTRY 03

ビルメンテナンス関連



- ビルメンテナンス業
- ビル清掃業
- ボイラー整備業
- エレベーター / エスカレータ管理業
- 高層ビルガラス清掃業

INDUSTRY 04

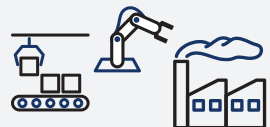
農林水産業関連



- 農業(稲作)
- 農業(野菜)
- 酪農業
- 畜産業
- 漁業

INDUSTRY 05

製造業関連



- 製鉄業
- 非鉄製造業
- 輸送用機器類製造業
- 食品製造業
- 各種機械製造業
- セメント製造業
- ボイラー関連製造業
- 医薬品製造関連

INDUSTRY 06

プラント運営関連



- 発電所(原子力発電所等)
- 各種化学プラント運営
- 石油精練プラント運営

INDUSTRY 07

建設業関連



- 内装業
- 各種建設業
- 塗装業
- 解体工事業

INDUSTRY 08

廃棄物処理関連



- リサイクル業
- 産業廃棄物処理業

INDUSTRY 09

運輸関連



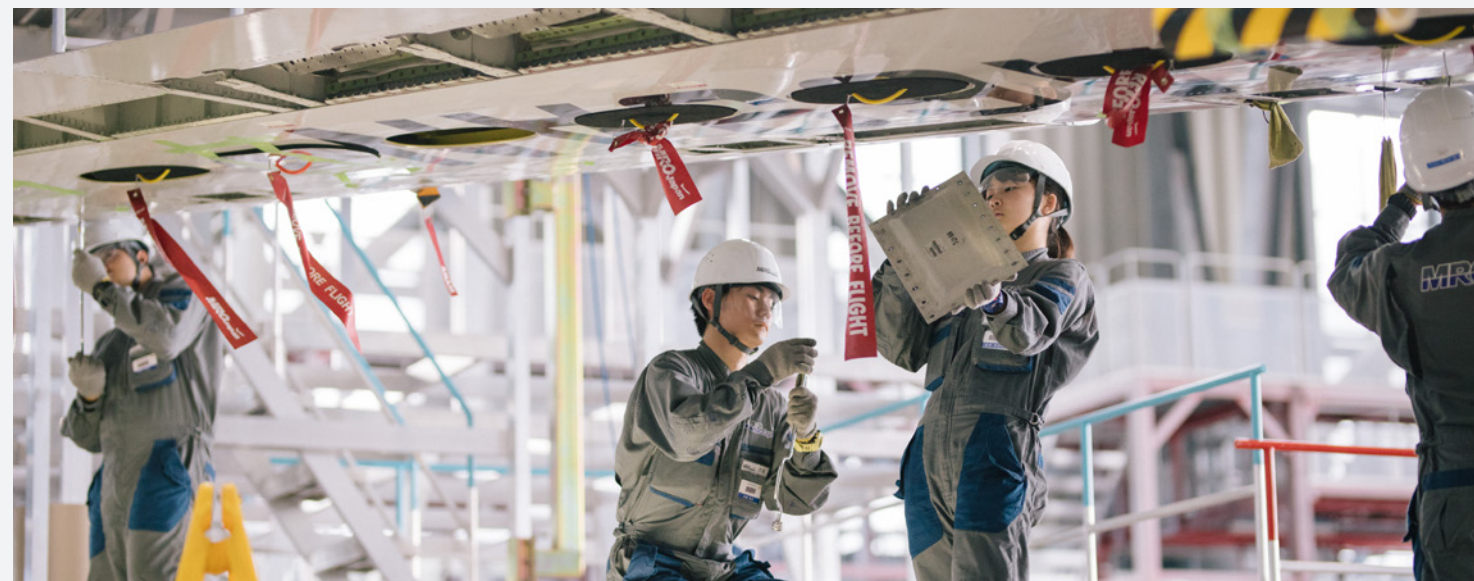
- 陸運業
- 空運業
- 海運業

INDUSTRY 10

その他



- 非破壊検査業
- ゴルフ場
- 理美容業
- シロアリ駆除業
- アミューズメントパーク運営
- 各種専門学校(制服)



CREATE

品質の高さが、信頼の尺度。

信頼されることは、一朝一夕には成し得ない。
お客様の要望に的確に応えられているか。喜んでいただけるか。
信頼とは、どれだけお客様にご満足いただけているかの尺度でもある。
永い歴史に鍛えられた技術とこだわりが高い品質へと結実し、山田辰の今を支えています。

〈山田辰のものづくり〉

企画 PLANNING

つなぎ服に求められるすべてに、こだわりを。

つなぎ服に求められるもの。
それは突き詰めれば、「どんな作業でも」、「どんな現場でも」、いかに快適に、
より安心して着用できるかどうかということ。
働く人たちの最高のパフォーマンスを引き出すための先進の技術と工夫。
素材の選定からポケットのサイズや細かな部位のデザインに至るまで。
山田辰は常に現場に立つ人たちの立場で製品の企画・開発を進めています。

生産 PRODUCTION

確かな品質をより安心してご提供する独自の拠点ネットワーク。

高品質の製品を適正価格で安心してオーダーいただくために、山田辰では中国やベトナムなど海外の製造拠点の整備にも力を入れています。各工場には最新の機械を導入し、生産ラインでは徹底した効率化を推進。製品・製造のクオリティを常に高いレベルで維持できるよう、自社で定めた厳格な技術水準を設け、現地スタッフには定期的な技術指導を実施。
また重要度の増すユニフォームのトレーサビリティ体制も完備。
これにより大規模なオーダーにも高品質な製品を安定して提供することが可能に。
小ロットや特殊なオーダーには、国内生産拠点の自社工場[島根県出雲市・出雲ファクトリー]と連携し、お客様のニーズに柔軟に対応しています。
確かな品質をより安心してオーダーいただけるよう、万全の体勢を整えています。

納品 DELIVERY

発注・納品をスピーディにスムーズに。
独自の「WEB発注システム」。

「すぐにつなぎ服が必要」というお客様にどうすればお応えできるのか。
山田辰ではオーダーから納品まで迅速に対応できる独自の「WEB発注システム」を導入。
在庫数や納期などの情報を、お客様自身がサイト上*1でリアルタイムに確認することができます。
また、新しく商品を探す場合でも、お手元に商品カタログを用意する必要がなく、ご要望の条件を入力するだけで手間なく商品検索が可能です。

*1:システムのご利用は事前に登録が必要です。

つなぎ服は、待ったなし。
納品の効率化を実現する業界最大級の「ストックメンテナンス」体制

現場作業の必需品であるつなぎ服だからこそ、欠品や在庫不足という理由でオーダーされたお客様をお待たせすることがないよう、山田辰では大規模な「ストックメンテナンス」体制を独自に開発。様々な現場ニーズに対応する約150種類にのぼる定番アイテムを常時40万〜50万着、全国各所にある保管倉庫でストック。また国内外の生産ラインを専属稼働させ、定期的な製造・品質管理・製品のメンテナンスを実施することで、品切れがないよう計画的な生産体制を確立しています。
これにより、オーダーから納品までのタイムラグを抑え、「すぐ納品してほしい」という全国のお客様のもとに高品質のつなぎ服を迅速にお届けいたします。
「お待たせしない」ことも、山田辰の品質の一つです。





顧客の多様なニーズをコンプリートするつなぎ服のカスタムオーダー

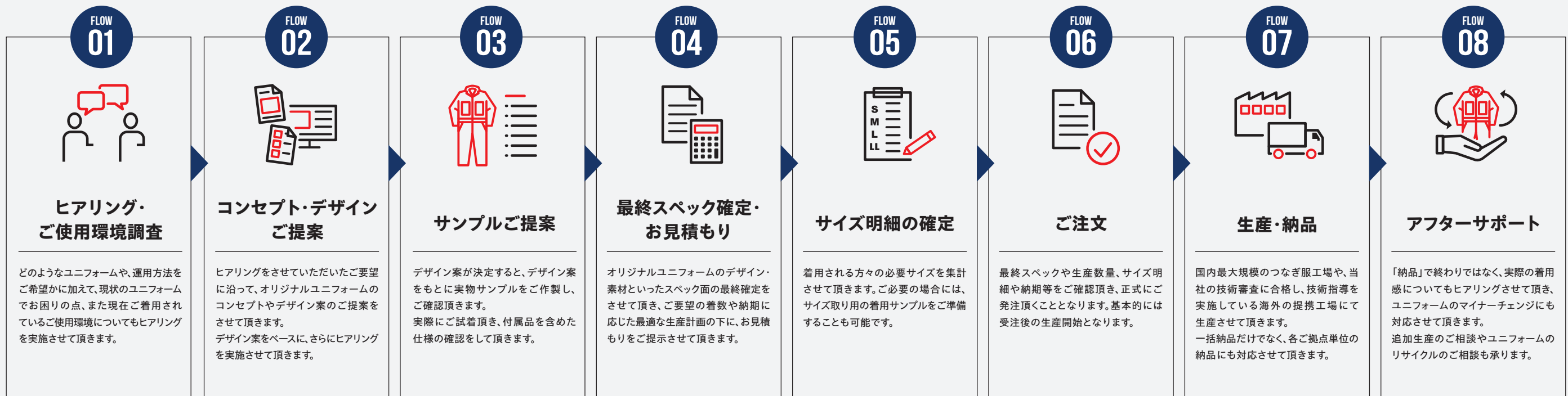
100年の歴史のなかで様々な現場に適するつなぎ服を提供してきた山田辰では、従来の多種多様な定番品のオーダーに加え、時代の変化によりますます多様化する企業様のニーズや幅広い現場・業務に柔軟に対応できるよう、新たにオリジナルユニフォームを提供する「UNITECH(ユニテック)」のサービスを展開します。

日本最大級のラインナップを誇るつなぎ服メーカーとしてのノウハウと技術を活かし、あらゆるオーダーにお応えいたします。

山田辰のユニフォームサービス「UNITECH」

UNITECHでは、企画段階からお客様と細かく打ち合わせを重ね、オーダー内容を精査したうえで設計・デザイン・サンプルのご提示をいたします。また納品後も専門スタッフによる着用感や使用感等のヒアリング調査などアフターサポートも充実。マイナーチェンジや追加生産、リサイクルのご相談まで、お客様が安心してご依頼いただけるサービス内容となっています。

〈オーダーフロー：フルオーダープラン〉



■ オーダープラン

現場のニーズや着数、ご予算、納期等のご希望に合わせて、3つのプランからお選びいただけます。

★★★ フルオーダー

- ユニフォームに使用する生地から自由に選択可能
- ゼロからのオリジナルデザインの組み立て可能

数量：原則 800着以上
(例外的にアップチャージで 300 着以上)
支給対象人員：200人以上 (4着支給換算)
納期：ご注文後 8ヶ月～

★★ レギュラーオーダー

- 定番ユニフォームの生地を別色に染める等の対応が可能 (カラー変更がベース)
- 一定の範囲内でのデザイン変更が可能

数量：原則150着以上
支給対象人員：30人以上 (5着支給換算)
納期：ご注文後 6ヶ月～

★ オプションオーダー

- 当社のカタログ定番商品をベースにカスタム加工が可能 (あくまでも完成品にカスタム加工するため生地の変更は不可)
- 刺繍やプリントなど追加でカスタマイズに対応可能

数量：1着から対応可能 * 加工内容により
納期：定番商品の在庫があれば短納期で対応可能
(1ヶ月を目安)

econnect®

次代のために、つなぎ服ができること

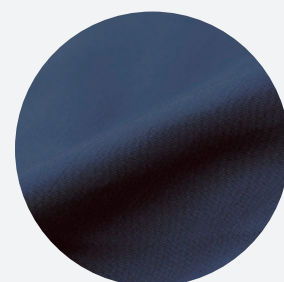
〈山田辰のSDGsへの取り組み〉

1 資源を活かすリサイクル素材

ペットボトルの原料となっているPET（ポリエチレンテレフタレート）をリサイクルした、環境配慮型の「再生ポリエステル繊維」を素材に使用する取り組みを推進しており、一部製品に使用しています。また現在、綿花の一部にフェアトレードコットンを使用する認定素材の採用を進めています。

素材の無駄を省く、独自の製造技術

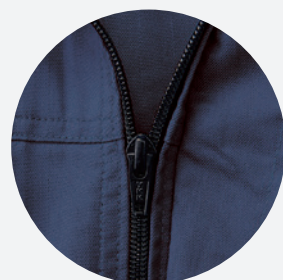
山田辰は現在、パターン（型紙）やマーカ作業（原反の幅の中にパターンをはめ込む作業）の技術改善にも取り組み、使用原材料の削減を通じて、製造過程における資源の有効利用にも取り組んでいます。



▲ 再生ポリエステル

2 買い替えサイクルが長い丈夫服

1年を通したタフな環境で働くつなぎ服にとって、耐久性はとても重要な要素の一つ。高機能素材を採用し、独自の縫製技術と組み合わせることで、毎日洗濯しても簡単に破損や劣化をしない「年レベル」の製品寿命を実現。買い替えの期間が長くなることで消耗品として破棄する無駄を抑えます。



▲ (a) 高品質ファスナー



▲ (b) 4本針で上下を縫製



▲ (c) 強力二重環縫



3 資源の無駄をなくすアップサイクル

破棄される衣類等に新しい価値を与え、再利用するアップサイクル。クリエイティブ・リユース（創造的再利用）とも呼ばれる新しい価値概念ですが、山田辰ではエコログ・リサイクリング・ネットワークの会員に加盟し、ユニフォームの回収まで含めたアップサイクルを積極的に行っています。



4 無駄ゼロを目指す取り組み

定番製品が廃番になったケースなど様々な理由で未利用となった原反は、「シートカバー*1」や「エコバッグ」の素材に転化させ新しい製品に活用しています。

*1: 自動車整備時に、シートの上に敷いて作業をし、シートの汚れを防ぐカバー



▲ シートカバー



▲ エコバッグ

5 ジェンダーレスの推進

男性・女性を意識させない配慮をすべての作業着に。山田辰の提供するつなぎ服の機能と性能は、常に新しい時代に向いています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

HISTORY

「100年の感謝をこめて。」

創業者・山田辰二郎の手によって1911年にスタートした“山田辰”は、2011年に100周年を迎えました。明治、大正、昭和、平成、そして令和。戦争や自然災害、不況など様々な窮地を乗り越えることができたのも、ひとえに“山田辰のつなぎ服”を選んでくださったみなさまのおかげです。まだ多くの人が和服に袖を通していた時代、作業着をつくりはじめた辰二郎の胸には「“丈夫で働きやすい服”を届けたい」という想いがありました。100年経った今でも、根本にあるその気持ちに変わりはありません。働く人たちが最高のパフォーマンスを発揮できるよう、わたしたちは今日もつなぎ服を作り続けます。

HIGHLIGHTS



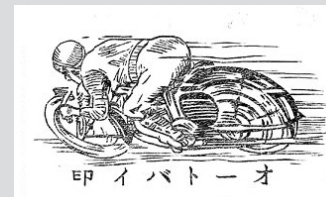
日本中から愛されるつなぎ服のロングセラーブランドAUTO-BIがスタートしたのは1927年。日本の歴史とともにAUTO-BIは歩んできました。これからも世の中の動きを敏感に感じとり、つなぎ服へのニーズに柔軟に応えることで、時代を超えて愛される“山田辰のつなぎ服”を作り続けます。

1911 山田辰創業



1911年、山田辰二郎が大阪城のほど近くに作業場を構え、そのお膝元で働く人たちのためにオーダーメイドの作業着作りをスタートさせました。その後、重工業等の発達に伴い作業着の需要が拡大し、“山田辰のつなぎ服”は全国区へ。この時より今日に至るまで山田辰と日本の産業との長い付き合いがはじまりました。

1927 AUTO-BI誕生



誰よりもつなぎ服を考え、誰よりもつなぎ服を楽しむ。山田辰初の自社ブランド「AUTO-BI」が立ち上がったのは創業から16年後の1927年。街を颯爽と駆け抜ける未来の乗り物オートバイは当時の人々にとってセンセーショナルな存在でした。オートバイのように力強さとデザイン性を備えた新しい作業着を作る、このネーミングにはそんな気概が込められているのです。お客様の想像を超えたい、誰も見たことのないつなぎ服を作りたい。ブランドの根底にあるスピリットは今もそしてこれからも変わることはありません。ブランド発足とともに商標登録されたロゴは、現在も「オートバイ印」として、AUTO-BIのつなぎ服に欠かせない存在となっています。

1950's 高度経済成長



求められた“働きやすい服”時は1950年代、日本は高度経済成長の真っ只中。希望に満ちあふれる雰囲気の中、急激に増加したのが自動車産業等の仕事と“快適に働くことができる作業着”を求める声でした。AUTO-BIは全国各地へ高品質のつなぎ服を安定したペースで供給することでこの需要に応え続けました。日本という国の成長をこの目で見つめながら、そこにに関わり、微力ながらもモータリゼーションをはじめとした産業の飛躍に役立てたことはわたしたちの誇りです。

1990's F1ブームとつなぎ



培った技術をレーシングスーツに - 「THE MAN SPIRIT」1981年に、AUTO-BIブランドで培った技術をもとに、モータースポーツのプレイヤーをアクシデントから守るレーシングスーツのブランド「THE MAN SPIRIT」を発足しました。日本がF1ブームで盛り上がる、1990年代前後の国内のサーキット場で「THE MAN SPIRIT」は様々なドライバーの身の安全を守りつつ、彼らのポテンシャルを最大限に発揮できるウェアの高みを目指しました。

2020 Snow Peak・JOURNAL STANDARD relume コラボレーション



AUTO-BI初となるブランドコラボレーションでは、Snow PeakとJOURNAL STANDARD relumeと3社でキャンプシーンに向けアップデートしたカプセルコレクションを展開。Snow Peakのオリジナル素材である、耐久性、難燃性を兼ね備えたタフでハイブリットなTAKIBI Denimを使用し、キャンプシーンではもちろんのこと日常使いにもマッチしたつなぎ服を制作しました。

- 1911年(明治44年) 創業者山田 辰二郎が、オーダーメイドの作業着の製造を開始する。
- 1920年代前半(大正時代) 販路を全国規模に拡大。全国各地に販売網が完成する。久保田鉄工・富士製鉄室蘭などの重工業メーカーに制服を納入。
- 1927年(昭和2年) 「AUTO-BI」ブランドを商標登録。
- 1931年(昭和6年) 合名会社山田辰商店設立
舞鶴・呉・佐世保・横須賀などの各海軍工廠に制服の納入を開始する。
- 1940年(昭和15年) 戦時統制時代において、樺太庁の唯一の指定工場として樺太方面の作業着の供給を行う。
- 1945年(昭和20年) 大阪大空襲により本社全焼。本社機能を創業の地である森之宮から当時縫製工場であった現本社所在地に移転。いち早く事業を再開し、企業活動を再開する。
- 1961年(昭和36年) 「山田辰株式会社」設立
- 1963年(昭和38年) 「合名会社山田辰商店」を吸収合併する。
- 1975年(昭和50年) 「THE MAN」ブランドを発表する。
- 1981年(昭和56年) レーシングスーツの製造・販売を開始する。
レーシングスーツブランドとして「THE MAN SPIRIT」ブランドを発表する。
- 1988年(昭和63年) 「AUTO-BI」ブランドのつなぎ服「#1760」がグッドデザイン賞受賞
- 1990年(平成2年) 資本金6,000万円に変更
- 1991年(平成3年) 「出雲ファクトリー」稼働開始
「KANSAI UNIFORM」ブランドとの提携をスタートする。
- 1992年(平成4年) 「東京支店」開設
- 2001年(平成13年) ベトナム提携先工場に技術指導を行い、ベトナム協力工場のライン稼働開始
- 2011年(平成23年) 創業100周年を迎える。
- 2017年(平成29年) 「AUTO-BI」ブランドの商標登録90周年を迎える。
- 2022年(令和4年) 創業111周年を迎える。

会 社 名	山田辰株式会社 (YAMADATATSU CORPORATION)
創 業	明治44年 (1911年) 7月
設 立	昭和36年 (1961年)2月23日
代 表 者	代表取締役社長 山田一人
資 本 金	60,000,000円
事 業 所	〈大阪本社〉 〒536-0024 大阪府大阪市城東区中浜3丁目14番22号 TEL：06-6968-0001(代表) FAX：06-6968-0009 ホームページ：https://yamadatatsu.co.jp 〈東京支店〉 〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町2丁目3番5号 木下ビルディング7F TEL：03-5640-6211(代表) FAX：06-6968-0009 〈出雲ファクトリー〉 〒693-0043 島根県出雲市長浜町457番地12号 TEL：0853-28-1760(代表) FAX：0853-28-1555
主要仕入先	倉敷紡績株式会社 伊藤忠商事株式会社 (順不同) 他60社
主要取引先	全国主要ユニフォーム納入事業者 全国主要ユニフォームショップ 全国主要自動車組合 (順不同) 全国取引先 1,200社
主要取引銀行	株式会社三井住友銀行 株式会社 三菱UFJ銀行 株式会社阿波銀行 (順不同)
主要自社ブランド	「AUTO-BI」「THREE DRAGONS」
主要提携先ブランド	「EDWIN」「KANSAI」「RECARO」「Phiten」「空調服®」

